


令和4年度（2022年度） 豊中市文化芸術推進基本計画に 基づく施策実施状況（案）

令和6年（2024年）1月

豊中市都市活力部魅力文化創造課



目次

■ I	文化芸術推進基本計画の概要	3
■ II	推進プログラムに基づく取組みの実施状況	
	1 文化芸術の力を活かしたまちづくりの推進	5
	2 人材の育成と文化芸術活動の支援	8
	3 音楽あふれるまちづくりの推進	11
	4 地域資源の活用と発信	13
	5 文化芸術環境の充実	15
	重点プロジェクト	18
■ III	文化芸術推進基本計画に基づく施策の進捗管理	(別表参照)

I 文化芸術推進基本計画の概要

人と文化をはぐくむ創造性あふれるまちをめざして

策定の趣旨

- 豊中市文化芸術推進基本計画は、豊中市文化芸術振興条例に基づき、今後の文化芸術振興施策の総合的な推進を図るために策定したものです。
- 計画期間は、令和3(2021)年度から9(2027)年度までの7年間です。
- 同条例に掲げる「人と文化をはぐくむ創造性あふれるまち」をめざして、さまざまな文化芸術振興の取組みを進めています。

基本理念

- 自主性及び創造性の十分な尊重
- 文化芸術を鑑賞、参加、創造するための環境の整備
- さまざまな協働による新しい豊中の文化芸術の創造
- 過去からの文化芸術の継承と発展
- 一人ひとりの多様な文化芸術及び価値観の理解と尊重

I 文化芸術推進基本計画の概要

具体的な推進プログラム

1 文化芸術の力を活かしたまちづくりの推進

- 文化芸術創造都市として、他分野との連携・横断による地域活性化への取組みを推進
- 文化芸術による都市魅力の創造

2 人材の育成と文化芸術活動の支援

- 次代を見通した人材の育成
- 文化芸術活動の支援

3 音楽あふれるまちづくりの推進

- 音楽事業の一層の推進

4 地域資源の活用と発信

- 美術・文化財等の地域資源の活用・発信の充実

5 文化芸術環境の充実

- 文化芸術に触れる機会の充実

重点プロジェクト

- 南部地域活性化の取組み
- 次代を担う子どもの創造力を育む取組み

II 推進プログラムに基づく取組みの実施状況

1 文化芸術の力を活かしたまちづくりの推進

取組み項目

- (1) 文化芸術推進都市として、他分野との連携・横断による地域活性化への取組みを推進
- (2) 文化芸術による都市魅力の創造

指標 (別表参照)

- 事業ごとの連携分野数
- 市民意識調査「今後も豊中市に住み続けたいと思う理由」に対する「まちに愛着を感じるから」の割合
- 事業参加者数

実施状況

- 文化芸術の力を活かして、福祉や教育など他分野と連携し、地域の活性化や社会包摂、魅力創造に取り組みました。
- 庄内音楽祭、似顔絵ジャパングランプリ、こども園へのアーティスト派遣事業、障害者授産施設で作られる「授産製品」の魅力向上を目的としたデザインワークショップを実施しました。似顔絵ジャパングランプリは2018年度以来の開催となり、席描きコーナーを中心に多くの人を訪れました(延べ441人)。「授産製品」魅力UPプロジェクト・デザインワークショップでは、市内の1事業所のカタログをリニューアルし、売上が大幅に向上する結果を導きました。次年度以降も引き続き取組みを進めていきます。
- 都市間交流として、山形市に日本センチュリー交響楽団が行き、山形交響楽団とのコラボ演奏を行いました。今年度は山形交響楽団が豊中市に来てコラボ演奏会を開催予定です。

II 推進プログラムに基づく取組みの実施状況

1 文化芸術の力を活かしたまちづくりの推進

(1) 文化芸術推進都市として、他分野との連携・横断による地域活性化への取組みを推進

主な取組み	令和4年度実績
世界のしょうない音楽ワークショップ・音楽祭	シタール、ガムランなどのアジアの楽器やヴィオラやコントラバスなどの洋楽器など、さまざまな弦楽器や打楽器などを体験する6回のワークショップにより、オリジナル楽曲を作成し、音楽祭で披露しました（参加者数のべ211人）。
こども園アーティスト派遣事業	市立栄町こども園の年長組1クラス（20人）を対象に、3人の美術アーティストを派遣しました。子どもが自発的に自由に参加する方式をとり、絵の具作りからお絵描きまで、月1～2回・全13回のプログラムを試行的に実施しました。
障害者や高齢者等に対する文化芸術に関する取組み	障害者施設「授産施設」魅力UPプロジェクトとして、アートを活かしたデザインワークショップを実施。市内の事業所一か所を対象とし、カタログデザインのリニューアルを行いました。その結果、売上額が実施前と比較し約2.5倍となりました。

II 推進プログラムに基づく取組みの実施状況

1 文化芸術の力を活かしたまちづくりの推進

(2) 文化芸術による都市魅力の創造

主な取組み	令和4年度実績
豊中まつり	8月に3年ぶりに豊島公園で現地開催。新型コロナウイルス感染対策としてオンラインでのライブ配信などWEBコンテンツも充実させ、豊中や沖縄の音楽アーティストによる演奏や市民活動団体の活動発表などを行いました（web閲覧者39,104件、YouTube視聴数19,555件）。
とよなか音楽月間事業	10周年を迎えたことから、「とよなか音楽月間」の期間を1月末まで延長。市内小学校、高等学校の吹奏楽部とセンチュリー交響楽団によるコラボ演奏会など記念事業を実施。令和4年度は77のイベントが実施され、のべ12,962人が参加した。
都市間交流事業（兄弟都市・姉妹都市交流）	兄弟都市沖縄市と豊中まつりや沖縄市産業まつりなどで交流事業を行いました。姉妹都市サンマテオ市との交流に向けた高校生英語弁論大会を実施しました（参加者15人）。

II 推進プログラムに基づく取組みの実施状況

2 人材の育成と文化芸術活動の支援

取組み項目

- (1) 次代を見通した人材の育成
- (2) 文化芸術活動の支援

指標 (別表参照)

- 各事業の参加人数及び来場者数
- 各事業の参加校数

実施状況

- 子どもたちが文化芸術に触れる機会の充実や、文化芸術活動の担い手となる市民・市民団体への助成などに取り組みました。
- コロナ禍により、子どもたちのさまざまな体験の機会が失われていることから開始した舞台芸術体験事業を、今年度も小学生・中学生を対象に行い、文化芸術に触れる機会を確保しました。
- 助成制度の対象事業「地域課題の解決をめざす事業」の採択が少なかったことから、「文化芸術の新たな魅力や価値の発見をめざす事業」に見直しました。今回大きく応募数が増えることはありませんでしたので、今後も引き続き、助成制度の活用に向けて、検討する必要があります。

II 推進プログラムに基づく取組みの実施状況

2 人材の育成と文化芸術活動の支援

(1) 次代を見通した人材の育成

主な取組み	令和4年度実績
舞台芸術体験事「ホールでオーケストラ♪」 (小学生・中学生)	小・中学生が、文化芸術センター大ホールで日本センチュリー交響楽団によるオーケストラコンサートを鑑賞する事業。(参加校数は中学校12校、小学校39校)。子どもや教員へのアンケートでは、「興味が無かったが、演奏をもっと聴いてみたい、楽器を演奏してみたいと思った。」「オーケストラや指揮に興味をもつ子が多かった。」など評価をいただいています。
豊中ARTSワゴン・アウトリーチ事業 (指定管理者事業)	若手音楽家を公募し、2年にわたる研修等によりレジデントアーティストとして育成し、小学校の音楽の授業等に派遣する事業。7人のレジデントアーティストを、10校に計87回派遣しました。
こども園アーティスト派遣事業【再掲】	こども園にアーティストを派遣し、子どもたちが美術プログラムを体験する事業【1の(1)参照】

II 推進プログラムに基づく取組みの実施状況

2 人材の育成と文化芸術活動の支援

(2) 文化芸術活動の支援

主な取組み	令和4年度実績
文化芸術振興助成金制度	文化芸術活動に対する公募の助成制度。助成対象は、①子どもが文化芸術に親しむ機会を充実する事業と、②文化芸術の新たな魅力や価値の発見をめざす事業です。令和4年度は、13件の応募があり、①5件・計1,270,000円、②8件・計2,696,000円の助成金を交付しました。
文化芸術活動報奨金	文化芸術分野の全国大会等に参加するなど顕著な成果を収めた個人や団体に報奨金を支給する制度。令和3年度は、個人6件、団体4件に支給しました。
市内学校への支援、中学生クラブ活動支援	市内の小・中学校、高校、大学が行う文化芸術活動や、文化芸術分野で優秀な成績を収めた中学校クラブ活動に対する、文化芸術センターの利用料金の減免制度。令和4年度は、13校が利用。

II 推進プログラムに基づく取組みの実施状況

3 音楽あふれるまちづくりの推進

取組み項目

- (1) 音楽事業の一層の推進

指標 (別表参照)

- 音楽関連事業の来場者数
- 音楽関連事業の参加校数
- 音楽関連事業の満足度

実施状況

- 音楽大学やプロ交響楽団が本拠を構え、市民の音楽人材も豊富な本市の特性を活かし、音楽によるまちづくりの取組みを実施しました。
- 豊中音楽月間10周年を記念し、例年実施しているまちなかクラシックに加え、助成金事業や、飲食店との連携事業を実施しました。
- 令和3年度より本格実施したストリートピアノの活用は、インスタグラムによる情報発信などの効果もあり、メディア露出が増えました。また、西村由紀江さんが豊中市のために作曲された「幸せを運ぶピアノ」に、歌詞をつけて、市民とともに斉唱するプロジェクトを実施しました。

II 推進プログラムに基づく取組みの実施状況

3 音楽あふれるまちづくりの推進

(1) 音楽事業の一層の推進

主な取組み	令和4年度実績
豊中音楽コンクール	人材の発掘・育成をめざして、高校生等がコンクールに挑戦する機会として、大阪音楽大学と連携して実施。秋には受賞者による記念コンサートを実施しました（応募者数206人）。
豊中まちなかクラシック	市内の寺院や教会など9会場で、日本センチュリー交響楽団員によるアンサンブル10公演を開催。「とよなか音楽月間」10周年を記念し、会場を2会場増やし実施しました（参加者数のべ933人）。
ストリートピアノ・プロジェクト	ストリートピアノ2台を公共施設や駅、商業施設などに巡回・設置し、豊中ゆかりのピアニスト等によるコンサート（17回・参加者2,404人）やインスタグラムでの動画配信（12件）を行いました。
小・中学生舞台芸術体験事業【再掲】	小・中学生が、文化芸術センターでオーケストラコンサートを鑑賞する事業。【2の（1）参照】

II 推進プログラムに基づく取組みの実施状況

4 地域資源の活用と発信

取組み項目

- (1) 美術・文化財等の地域資源の活用・発信の充実

指標 (別表参照)

- 市所蔵美術品を活用した事業の来場者数
- 博物・文化財などを活用した事業の実施回数

実施状況

- 本市の文化財や歴史的建造物、所蔵作品などを活用した取組みや、市内で活動する文化芸術活動団体等との連携による取組みを実施しました。
- 豊中市文化芸術連盟に加入する市民活動団体や、大阪大学総合学術博物館と連携して、展示や公演を行いました。また、大阪大学総合学術博物館(MOU) 創立20周年を記念し、記念展を開催しました。
- 歴史・文化財の資料を保管、整理・調査・研究、展示公開する施設として、令和4年11月に郷土資料館を開館しました。

II 推進プログラムに基づく取組みの実施状況

4 地域資源の活用と発信

(1) 美術・文化財等の地域資源の活用・発信の充実

主な取組み	令和4年度実績
文化芸術祭・市美術展	豊中市文化芸術連盟に加入する市内の文化芸術活動団体との共催により、文化芸術祭(参加者数949人)と、公募美術展(応募373人・入選300人、展示来場者のべ3,246人)を実施しました。
市民ギャラリー特別企画展	市内の民間ギャラリーと連携し、「こどもかるた作り/撮影～展示までを体験しよう!」を実施しました(参加者、来場者数のべ77人)。
大阪大学総合学術博物館企画展	大阪大学総合学術博物館との共催事業大阪大学総合学術博物館(MOU) 創立20周年記念展「地域に生き世界に伸びる」MOU収蔵品展－創立からMOU(もう)20年－を実施しました(来場者数2,137人)。
歴史や文化財資料の公開・活用事業	西山氏庭園などの文化財の一般公開を行ったほか、令和4年11月の郷土資料館開館に伴い、オープンイベントや記念講座を実施するなど、普及啓発活動を行いました。

II 推進プログラムに基づく取組みの実施状況

5 文化芸術環境の充実

取組み項目

- (1) 文化芸術に触れる機会の充実
- (2) 文化芸術活動のための環境整備

指標 (別表参照)

- 市民ホール等指定管理者自主事業件数
- アウトリーチ事業参加校数
- 市民ホール等設備満足度

実施状況

- 豊中市市民ホール等（文化芸術センター、ローズ文化ホール、文化芸術センター等駐車場、豊中市立伝統芸能館、豊中市立市民ギャラリー）の指定管理期間が2期目・2年目となりました。「豊中ならではの」事業を意識して事業展開しており、特に「とよなかARTSワゴン」等の人材育成事業は、市にとっても重要な事業となっています。
- ローズ文化ホールの令和5年度～令和6年度にかけての工事にむけ、設計を行い、休館のアナウンスを行いました。

II 推進プログラムに基づく取組みの実施状況

5 文化芸術環境の充実

(1) 文化芸術に触れる機会の充実

主な取組み	令和4年度実績
文化芸術鑑賞事業 (指定管理者事業)	文化芸術センターなどの文化施設で、音楽や舞踊、古典芸能、メディア芸術などさまざまなジャンルの質の高い鑑賞事業を実施。日本センチュリー交響楽団による「豊中名曲シリーズ」、ブラック・ボトム・ブラス・バンドしょうないふえす'22、矢井田瞳 with 日本センチュリー交響楽団プレミアムコンサート、メディアアート企画、現代音楽の公演などを行いました（鑑賞事業実施数54件、参加者数のべ26,823人）。
普及育成事業 (指定管理者事業)	市民ホール等では豊中ARTSワゴン・アウトリーチ事業【2の（1）参照】やアートマネジメント講座などを通して人材育成を行っています。大阪音楽大学との連携事業や、針山愛美さんのダンスプロジェクトなどもこれにあたります（普及育成事業実施件数34件、参加者数のべ5,044人）。
文化芸術振興助成金制度【再掲】	文化芸術活動に対する公募の助成制度。【2の（2）参照】

II 推進プログラムに基づく取組みの実施状況

5 文化芸術環境の充実

(2) 文化芸術活動のための環境整備

主な取組み	令和4年度実績
ローズ文化ホールの大規模改修設計	ローズ文化ホール・庄内体育館を令和5年・令和6年に大規模改修する予定で、ローズ文化ホールについては特定天井、ロールバックチェアー、トイレ等の改修を行います。
文化芸術センター等の文化施設の整備・修繕等	伝統芸能館の自動ドアにパニックオープン機能を追加する修繕を行ったほか、アクア文化ホールの机やソファを新調しました。

II 推進プログラムに基づく取組みの実施状況

重点プロジェクト

取組み項目

- ▶ 南部地域活性化の取組み
- ▶ 次代を担う子どもの創造力を育む取組み

指標（別表参照）

- ▶ 市民意識調査「豊中市は文化的なまちだと思いますか」に対する南部地域の「思う」「どちらかといえば思う」の割合
- ▶ 南部地域での事業実施件数
- ▶ 取組み事業件数

実施状況

- ▶ 推進プログラムのうち、重点的、横断的に取組むものについて「重点プロジェクト」に位置付けて推進しています。
- ▶ それぞれの推進プログラムの実施にあたっては、南部地域を対象として実施すること、また、子どもたちを対象に、音楽や美術などの文化芸術に触れる機会を通じて創造力を育むことに重点を置き、既存の事業も活用しながら取り組みました。

II 推進プログラムに基づく取組みの実施状況

重点プロジェクト

南部地域活性化の取組み

主な取組み	令和4年度実績
世界のしょうない音楽ワークショップ・音楽祭【再掲】	さまざまな弦楽器や打楽器などを体験する6回のワークショップにより、オリジナル楽曲を作成し、音楽祭で披露。 【1の(1)参照】
こども園アーティスト派遣事業【再掲】	こども園（南部地域の栄町こども園）にアーティストを派遣し、子どもたちが美術プログラムを体験する事業 【1の(1)参照】
南部地域魅力向上事業	南部地域の特性を表す四つの要素「音楽、スポーツ、食、ものづくり」を活かした社会実験を実施。「音楽」では、阪急庄内駅前の庁舎空きスペースを活用したストリートミュージックやグリーンスポーツセンターで「TOYONAKA GREEN SKATE PARK」を実施しました。

II 推進プログラムに基づく取組みの実施状況

重点プロジェクト

次代を担う子どもの創造力を育む取組み

主な取組み	令和4年度実績
小・中学生舞台芸術体験事業【再掲】	小・中学生が、文化芸術センターでオーケストラコンサートを鑑賞する事業。【2の(1)参照】
こども園アーティスト派遣事業【再掲】	こども園にアーティストを派遣し、子どもたちが美術プログラムを体験する事業【1の(1)参照】
豊中ARTSワゴン・アウトリーチ事業 (指定管理者事業) 【再掲】	若手音楽家をレジデントアーティストとして育成し、小学校の音楽の授業等に派遣する事業。【2の(1)参照】

II 推進プログラムに基づく取組みの実施状況

文化芸術に触れるきっかけづくりの取組み [みる／きく]

- 小学校アウトリーチ事業「ふれアート」
- 舞台芸術体験事業「ホールでオーケストラ♪」
- 市民ホール鑑賞事業の障害者や子ども料金設定
- こどもアートの日
- サウンドスクール
- 子ども園アーティスト派遣事業
- 子ども文化財教室等の講座・学習事業
- 南部地域活性化事業 など

文化芸術をより楽しむための取組み [する／みる／きく]

- 市内学校への支援、中学生クラブ活動支援
- 世界のしょうない音楽ワークショップ／音楽祭
- 高校生軽音楽フェスティバル
- 豊中市文化芸術祭
- 豊中市民第九演奏会
- 豊中市美術展 など

文化芸術をさらに深めるための取組み [する]

- 音楽コンクール
- 文化芸術活動報奨金制度